

気仙沼管内の話題や宮城県公所が取り組んだ事業を定期的に紹介します。

新商品「港町玄米(気仙沼金のいぶき)」が完成 (気仙沼地方振興事務所農業振興部)

海のまち気仙沼の新しい特産品「港町玄米(気仙沼金のいぶき)」が完成し、令和6年2月22日に完成記念試食会がリアス・アーク美術館のレストランで開催されました。

「港町玄米」は、令和5年4月に設立された気仙沼金のいぶき協議会が、宮城県が育成した玄米食専用品種「金のいぶき」を作付けし、「海洋汚染をしないようにプラスチック被覆肥料を使わない」、「貝殻を活用した土づくりを行う」等の環境に配慮した独自の基準を設けて生産されたものです。

試食会では、協議会が目指す環境配慮や地元海産物とのコラボレーションというコンセプトに沿って、貝柱の中華粥やパエリア風炊き込みご飯が提供され、参加者からは「プチプチ食感でおいしい」、「これまでの玄米とは違う」等の感想もあり、大変好評でした。

協議会は、「港町玄米(気仙沼金のいぶき)」による稲作経営振興に取り組んでおり、当部では引き続き、この取組を支援してまいります。



完成記念試食会の様子



港町玄米 (気仙沼金のいぶき) 450g

気仙沼大島で商品開発研修会を開催 (気仙沼地方振興事務所農業振興部)

気仙沼大島には、ゆずや大島かぶ、わかめ等の豊富な地域資源があり、それらの活用に向けて商品開発研修会を開催しました。

研修会は、岩手県を中心に全国各地で農林水産物等の商品開発支援に携わる(株)パイロットフィッシュの五日市知香先生を講師に招き、気仙沼大島地場産品出荷・販売組合の組合員を対象として、令和5年10月4日から全4回の研修を実施し、商品開発の手法を一から学びました。

令和6年1月31日に開催した第4回の研修会では、受講者5名が新商品のアイデアを発表しました。当日は、大島産ゆずを使用したシフォンケーキや大島で養殖されたわかめの茎を使用した佃煮等といった試作品を持参した受講生も多く、活気のある研修会となりました。

なお、本研修会を契機に開発された新商品は、令和6年3月10日に大島ウェルカム・ターミナルで開催されたイベントで発表・販売を行っております。



研修会の様子



大島産ゆずのシフォンケーキ

『三陸物産フェア』を開催！ (気仙沼地方振興事務所水産漁港部)

水産加工業者の東日本大震災からの『復興～成長』を支援するため、令和6年1月27～28日の2日間、イトーヨーカドー アリオ仙台泉店において、気仙沼市、南三陸町、(株)イトーヨーカ堂と共催した水産加工品等販売促進会『三陸物産フェア』を開催しました。

当日は、気仙沼市・南三陸町の水産加工業者等10社がブースを設け、気仙沼産メカジキやタラの切り身、生ガキなどの生鮮品や各社自慢の水産加工品を求めのお客様で賑わいました。また、むすび丸やホヤぼーや、気仙沼住みます芸人の「けせんぬまペイ！」さんによるじゃんけん大会、メカジキの解体ショーにより会場は大盛り上がりとなりました。

各社が用意した商品はほとんどが売り切れるほど大盛況で、気仙沼・南三陸地域の美味しい水産加工品を消費者にPRすることができました。



販売会の様子



じゃんけん大会の様子



令和5年度の愛鳥モデル推進校の活動報告について (気仙沼地方振興事務所林業振興部)

令和4・5年度の愛鳥モデル校として実施している、南三陸町立入谷小学校での野鳥学習活動は今年度が最終年となりました。

初回は9月に2学年を対象に身近な野鳥の写真や鳴き声のクイズを交えて説明を行いました。児童は身近な鳥に関するクイズに興味を持って次々と答えてくれました。11月には6学年を対象にオリジナルコースターづくりを行いました。コースターに描く、お気に入りの鳥を図鑑等で探し、真剣に作成していました。1月は4学年を対象に学校周辺で探鳥会を行いました。双眼鏡を手に熱心に野鳥を探し、昨年度よりも多い12種類を見つけることができました。これら3回の活動を通して、児童達の楽しく学ぶ姿勢を見て、私たちも「身近な自然こそ、興味を持って向き合うことで、自然の大切さを肌で感じるができる」のだと、気づきのあった活動となりました。

入谷小学校の先生方及び児童の皆様、機会がありましたらまた一緒に野鳥を勉強しましょう。



野鳥教室の様子



木工工作での作品



探鳥会の様子

【祝】南三陸林業フェスティバル2023初開催！（気仙沼地方振興事務所林業振興部）

南三陸森林管理協議会が主催となり、今年度が初開催（12/3）となる「南三陸林業フェスティバル2023」に、当部もPRブースを設け、令和5年度のイベントでレギュラーメニューとなった「特用林産物の試食（しいたけの唐揚げ）」・「ドローン操縦体験」・「なりきり林業キッズコーナー」・「高性能林業機械ミニカー展示」・「林業PR動画上映」等の他、新たな取り組みとして「しいたけ植菌体験」を実施しました。

初開催ということで、イベントの知名度不足から来場者数に不安がありましたが、各PRブースは盛り上がり、延べ170名の一般県民にPRすることが出来ました。

特にドローン操縦体験は予定時間を大幅にオーバーするなど好評でした。初めて取り組んだしいたけ植菌体験は、南三陸椎茸生産組合の協力のもと実施しましたが、今後も継続的に開催出来る体制を構築できました。

なお、来年度の開催も検討されているようですので、次回開催をご期待ください。



ドローン操縦体験



なりきり林業キッズ体験



しいたけ植菌体験

令和4年7月豪雨災害復旧工事を進めています（気仙沼土木事務所）

令和4年7月豪雨により、気仙沼土木事務所が管理する道路・河川の被災した施設は42箇所あり、令和6年1月末までに28箇所が完成しました。（完成率66.7%）

1日も早い復旧に向けて工事を進めて参りますので、引き続き御理解と御協力をお願いします。

【最近の完成箇所の状況（馬籠川下流部）】

復旧延長 L= 33.0m

護岸工 A= 81.6m²

復旧延長 L=152.5m

護岸工 A= 90.5m²

復旧延長 L= 32.4m

護岸工 A= 80.5m²



本吉町館下の完成状況



本吉町宮内の完成状況



本吉町下要害の完成状況

令和5年度「食材王国みやぎ」推進優良活動表彰を2団体が受賞！（気仙沼地方振興事務所地方振興部）

県では、“地産地消の推進”や“ブランドの確立”をさらに進めるため、先導的、模範的な活動を実践されている方々の功績を称える「食材王国みやぎ推進優良活動表彰」を実施しています。

当管内から、酒米サポーターズクラブ（気仙沼市）が地産地消部門で特別賞を、「株式会社阿部長商店（気仙沼市）」がブランド化部門で特別賞を受賞されました。おめでとうございます！

酒米サポーターズクラブは、酒造好適米の生産、蔵元2社での地米酒ブランド福宿（ふくよどり）の醸造、酒販店の組合による販売に加え、関係者と連携して農作業体験を実施するなど、地産地消に貢献しています。株式会社阿部長商店は、自社の水産加工場から出る魚の不可食部分を魚粉に加工し、その魚粉を肥料として栽培した、「リアスの煌めき」として提供販売を行うなど、未利用魚を利用した食材ロス削減や、循環資源の再利用に貢献しています。

受賞内容の詳細は、宮城県のホームページでも御紹介していますので、是非ご覧ください。



授賞式

（手前左端：酒米サポーターズクラブ販売組織会長 小野寺優様
手前右端：（株）阿部長商店気仙沼プラザホテル支配人 堺丈明様）



地米酒 福宿



リアスの煌めき
（株式会社阿部長商店）

気仙沼市・南三陸町ミライフ（未来+ライフ）ツアーを開催しました！

（気仙沼地方振興事務所地方振興部）

令和6年2月10日～12日の2泊3日の日程で首都圏在住の移住希望者を対象とした移住ツアーを気仙沼市と南三陸町で開催しました。

気仙沼市では、市移住・定住支援センター「MINATO」やデザイン事務所、子育て団体などで活躍されている移住先輩方から移住したきっかけ、気仙沼での暮らし・子育てについてお話をいただきました。

南三陸町では町移住・定住支援センターの方に町内をご案内いただいたり、古民家をリノベした宿を営んでいる方やワイナリーを起業した方、チャレンジしたい女性を応援する団体の代表、観光のお仕事をしている移住先輩方から起業や南三陸での暮らしについてお話をいただきました。

参加者の皆さんは、先輩のアツい想いに感動されていたり刺激を受けた様子で、先輩方と友達になっている様子も見られました。

今回ツアーに参加された皆さんとまた気仙沼・南三陸で会えることを楽しみにしながら、県としても引き続き交流人口の創出・移住へ繋がるよう取り組んでいきます！



MINATO で話を聞くツアー参加者



小さな宿のん見学の様子



南三陸ワイナリー醸造所見学の様子